

美術学部

教養部会講師 西村 和泉

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
[学会発表] Lien à faire/Corde à (dé) tendre: Réflexion sur l'évolution des textes <i>En attendant Godot</i> de Samuel Beckett	2010. 12. 11	第36回日本サミュエル・ベケット研究会（於青山学院大学）	フランス国立図書館に所蔵されている『ゴドーを待ちながら』初稿の解説を通して、「ゴドー」と「待つ」という言葉がどの執筆段階において生まれ、いかなるエクリチュールの運動や作用によって、あるいは作者の創作や言語に対する意識の下で作品が構築されていたのか検討した。まず、主人公であるヴラジミールとエストラゴンが互換性を持つ「二人の老人」と書かれていた点から「メルシエとカミエ」との比較を行った。また彼らの対極に位置する二人組（ポツォ、ラッキー）との比較を通して、〈固有名〉と〈コミュニケーション〉の問題を考察した。とりわけ出版稿に頻出する「紐」が含意する〈共有性〉と〈フラジリティ〉から登場人物相互の関係性を探った。そして、これまでゴドーを待つ物語と考えられてきた本作品が〈パラドクシカルな絆〉によって成り立つことを指摘した。
[学会発表] Le polyrythme cyclique dans <i>Comment c'est et Quad</i> de Samuel Beckett	2011. 3. 4	Le 5ème colloque international du Centre Interdisciplinaire de Poétique Appliquée (CIPA), 《Boucle et répétition: musique, littérature, arts visuels》於リエージュ大学（ベルギー）	ベルギーのリエージュ大学で開催された国際学会（CIPA 主催：「円環と反復——音楽、文学、ビジュアル・アート」）でフランス語による発表を行なった。サミュエル・ベケットの長編小説『事の次第』と後期テレビ作品『クワッド』における円環と反復の運動性について、草稿研究をベースに論じた。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
---------------------------	-------------------

授業科目 フランス語 I		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
初めてフランス語を学ぶ学生が興味を持てるよう、親しみやすい内容のテキストを用いた。授業で習得した表現を実際どのように用いるのかをイメージしやすくするために、DVD を視聴すると共に、学生同士のロールプレイを行った。作文や小テストを通して、正確な綴りを習得すると共に、毎授業の最後に重要表現をまとめたプリントを用いて繰り返し練習した。また重要表現が含まれるフレンチポップスを聴いて発音することで、音を身体で覚えられるよう工夫した。	テキスト、自作のプリント、映像資料	
授業科目 フランス語 II, III		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
既習者を対象に、様々な状況に対応できるフランス語力を伸ばす授業を心がけた。作文や小テストの課題を通して、重要な表現を繰り返し教えると共に、プリントを用いて学生同士のロールプレイを行なうことで、自発的に話す喜びを与える授業を行なった。また、フレンチポップスや映画、あるいはスカイプを用いた授業を取り入れて発音の仕組みを説明することで、学生のコミュニケーション力を高める工夫を行なった。	テキスト、自作のプリント、映像資料	
授業科目 異文化入門		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回自作のプリントを用いて、様々なテーマ（政治、家族関係、文学、美術、音楽、料理、身体性、ポップカルチャー）からフランスと日本の文化について講義を行った。最初の授業で学生が特に関心を持っているテーマを聞き、それと関連した授業が行えるよう工夫した。数回の授業ごとにレポートを課すことで、学生が異文化とは何かを考え、それを身近に感じる機会を与えた。また、国内外のジャンルを超えた映像資料を数多く見せ、プリントを通して簡潔に説明することで、学生のインスピレーションを刺激する工夫を行った。	自作のプリント、映像資料	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本サミュエル・ベケット研究会	1996. 4～現在	会員
日本フランス語フランス文学会	1997. 4～現在	会員
日本比較文学会	1999. 4～現在	会員
日本フランス語教育学会	2006. 4～現在	会員
早稲田大学グローバル COE	2007. 4～現在	研究協力者